北海道新聞　2010年（平成22年）12月4日（土曜日）

東神楽・ゼストシステム

植樹代行にエコ会長賞

「事業拡大の足がかりに」

工事現場用の資材を販売・レンタルする「ゼストシステム」（東神楽）が、二酸化炭素（CO_2）の排出を抑える植樹代行の取り組みで、エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞に選ばれた。環境負荷の低減に配慮した商品やサービスを表彰する制度で、同社の安井文期（ふみき）社長は「事業拡大のチャンスにつなげたい」と喜ぶ。（田島工幸）

会長賞は大賞の大臣賞に次ぐ2番目の賞。推進協議会は財団法人や社団法人など4団体で構成し、環境省などが後援している。

同社は、工事現場の関係者向けに作業主任者一覧や安全スローガンなどを掲載する木製案内板を主力に各種工事用資材を手掛ける。主力商品に植林ポイントを付け、ポイント数に応じて商品を購入・レンタルした企業に代わり同社が植樹する仕組みを考えついた。企業には証明書も発行している。

2008年から始め、旭川や近郊に約30㌶の植樹用の土地を購入。08、09年の2年間で4552本の植樹を代行した。また、木製の掲示板が鉄やアルミニウムの製品と比べて、製造時のCO_2が少ない点なども評価された。

同社は全国に先駆けて木製案内板を商品化したが、同業他社との競争が激しくなる中、環境分野に着目して差別化を図った。安井社長は「大手メーカーがひしめく中での受賞は快挙。道内にとどまらず、本州でも積極的に営業をかけたい」と話している。

植樹を代行するポイントが付いている木製掲示板をPRする安井社長